

明るい養老

第116号
2016年
8月

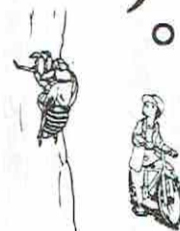
発行
日本共産党
養老町支部

中央委員会HP
<http://www.jcp.or.jp>

水谷久美子
(34)-0062
石井 正和
(32)-2657
野村 勝
(32)-1703

暑中お見舞い申し上げます。

二〇一六年 盛夏



七月十日投開票でおこなわれた参議院議員選挙は「自公と補完勢力」対「4野党プラス市民」という戦後かつてない対決構図でたたかわれ、わが党は、野党共闘の勝利と日本共産党の躍進という二つの大目標を掲げてたたかいました。

この岐阜県では昨年の安保法制反対の市民運動を担ってきた「岐阜県総がかり行動」が仲介役となつて、民進、共産、社民の三党が左の三つの旗印での共闘を確立し「ピースハート岐阜」を結成しました。

- 一、安保法制の廃止を目指す
- 二、立憲主義を回復し、二〇一四年七月の閣議決定の撤回を目指す
- 三、個人の尊厳を擁護する政治を目指す

岐阜県では、民進党の小見山よしはるさんを野党統一候補として推薦し、当選には至りませんでした。が、野党三党の比例票の合計を約十二%上回る票を獲得し、野党共闘は効果を発揮しました。今後の国政選挙でも野党共闘を追及してゆきます。

比例選挙では三年前の参院選から、全国で約八十五万票を上積みし、計六〇一万六千票で五名が当選改選三名から躍進する事ができました。猛暑の中、野党共闘と日本共産党にご支持をお寄せいただいた有権者のみなさんに心からのお礼を申し上げます。

この養老町においても、得票数、率ともに前進することができましたが、まだ全国水準から遅れています。更に一層のご支援を、お願い申し上げます。

二〇一六年 八月 日本共産党養老町支部

近年の国政選挙の日本共産党の得票 (養老町)

	得票数	得票率	投票率
2012年衆院選	582	4.2%	56.0%
2013年参院選	836	6.9%	46.7%
2014年衆院選	949	8.6%	45.5%
2016年参院選	999	7.6%	53.5%



6月11日共産党演説会にて、武田良介参議院議員とともに。武田さんはこの時は比例予定候補でした。この時は民進党の小見山よしはるさんもあいさつにられました。

(水谷)

改憲は信任されていない 9条守れは過半数

参議院選挙の結果、国会の議席としては改憲派が3分の2を占めることになりました。一方、選挙の出口調査では改憲反対が過半数。これは安倍内閣が徹底した改憲隠しで選挙をやり過ぎたため、憲法改正は信任されていません。今の日本には憲法改正を必要とする差し迫った事情や、幅広い国民的合意は存在していません。憲法審査会では改憲条項よりも、昨年秋の違憲立法の当否こそ審査すべきです。



4月28日養老鉄道烏江駅にて、「憲法9条守る？変える？」のシール投票に参加しました。(写真：中日新聞さんより)

(水谷)

高校生は九条守れが七〇%
九条の会の皆さんと共にシール投票

去る四月二十八日、養老鉄道烏江駅にて、九条の会・養老の世話人さんと共に、憲法九条への賛否を問うシール投票に参加しました。

当日はあいにくの雨でしたが「会」の集計では、下校時の大垣養老高校生を中心に、176人がシール投票に参加。ほとんどの高校生が投票に参加してくれて、結果は「9条を守る」121人(69%)

「わからない」54人(30%)

「変える」1人(1%)となり、「頑張って下さい」との声援も受け、やりがいのある行動となりました。

(水谷)

これより下、町政報告(裏面に続く)

改良住宅問題、養老町が負う課題の重さと切実さ、そして未来への確かな希望も

水谷議員が二十九年間取り組んできた重要公約

第十六回改良住宅特別委員会から

六月定例議会に先立ち去る六月九日に第十六回改良住宅特別委員会が開かれ、大橋町長は「毅然とした態度で、更に進めてゆきたい。」と挨拶しました。



法的措置の進捗状況

悪質滞納者103名に内容証明郵便を発送

内訳

①訴訟関係…11件

②滞納分…23件

③分納誓約違反…8件

④未相談…8件

⑤相談中…29件

⑥住宅返却又は交渉中…29件

⑦未配達…17件

まだ6千万円近い滞納が残る

以上103名の家賃未納総額は平成25年度分までで5933万9705円

表面より

③の分納誓約違反者八名の 内訳

- 一、弁護士法人名義の内容証明郵便…5件
- 二、生活保護世帯のため未発送…3件

(改良住宅問題)

当該地域で意識の変化が進んだことを実感

水谷議員は特別委員会の2号委員である、多芸西部地区区長会長等の方々に「法的措置が取られるようになって、地区内において様々な声が寄せられていると思うか？」と質問。これに対して「直接に相談等はない。」との返答。

三〇年前、「区長に相談すれば安易に(改良住宅に)入居できる。」と言われた時代からは隔世の観があります。地域の委員の皆さんには、法令にのっとった厳正な対応を望みます。

全旨・全ろうの
東京大先端研教授

福島 智さん



相模原での障害者の大量殺傷事件について
しんぶん赤旗日刊紙(8月1日付)に、東大教授の福島智さんより寄稿していただきました。

(一部抜粋)
容疑者は衆院議長への手紙で、障害者を殺す理由として、「世界経済の活性化」をあげました。つまり、重度障害者は、経済の活性化にとってマイナスだという主張です。

こうした考えは、あからさまには語られなくとも、私たちの社会にもあるのではないのでしょうか。労働生産性という経済的価値で、人間の優劣がはかられてしまう。そんな社会にあっては、重度障害者の生存はおぼつきません。しかしほんとうは、障害のない人たちも、こうした社会を生きづらく、不安に感じているのではないのでしょうか。なぜならだれであれ、労働能力が低いと評価されれば、社会から切り捨てられてしまうからです。相模原事件は、私たち一人ひとりに重い問いをつきつけています。

子育て環境が大きく変わります

町立保育園、幼稚園に廃園の方針



去る、七月十六日から十八日にかけて町内五か所で「今後の幼稚園・保育園運営説明会」認定子ども園への移行に向けて「子ども課の職員が各会場に出向き約一時間の説明と参加者からの意見交換会を開催しました。

(私は、小畑公民館で養北・日吉地区を対象にした説明会に参加しました。水谷)

「認定子ども園移行」説明会で、保護者から不安の声が



☆水谷議員に寄せられた疑問や不安☆

- ※なぜ公立を廃園するのか
 - ※計画案が拙速すぎる
 - ※保育の質は維持できるのか
 - ※保育料への心配
 - ※公立と私立で入園月齢がなぜ違うのか。
 - ※各地区からの保護者の意見は計画に反映されるのか
 - ※計画案は子どもへの気持ちを配慮していない
 - ※本町の幼稚園教育は、県教育事務所からも高い評価を受けていたではないか
 - ※公立の臨時職員の先生はどうなるのか。
 - ※私立に移行したら、役場は入園に関わらないのか。
- では「認定子ども園」への「移行」とはどういうことでしょうか？
- 養老町の「移行」の方針の概要は次の通りです。
- 一、町立保育園、幼稚園は廃園し、認定子ども園に移行する
 - 二、私立の保育園も町と協議のうえ私立の認定子ども園に移行する
 - 三、公立の認定子ども園も民間への移行を進める。
 - 四、移行に伴い保育料の見直しを進める

議会は言論の府 あなたの声届いてますか？

2016年3月 2015年12月
2016年6月議会 2016年3月議会

議員氏名 敬称略 議席順	一般質問の件数	議案質疑・討論	出欠状況
北倉 義博	0	0	出
岩永 義仁	4	2	出
長沢 龍夫	0	2	出
大橋 三男	2	1	出
三田 正敏	2	1	出
吉田 太郎	0	1	出 2016年5月より議長
早崎百合子	2	1	出
野村 永一	0	0	出 2016年3月まで議長
田中 敏弘	2	4	出
松永 民夫	2	5	出 2016年3月から5月まで議長
林 輝晃	2	0	出
青山 貞一	2	1	出
水谷久美子	4	8	出

「認定子ども園移行」問題
九月二日午後一時半開催の子ども・子育て会議の傍聴にお出かけください。

問い合わせ先、役場子ども課 電話32-5078

〓〓寄せられた声は、町長・副町長へ、九月二日開催の子ども子育て会議に反映〓〓

担当課(子ども課)では、一人一人の意見を文章に起こして整理し、正副町長とすり合わせし、子ども・子育て会議に諮るとのことです。

私(水谷)は、公立十ヶ月・私立五ヶ月の入園基準の見直し(公立も私立に準じた月齢)議論を要望しておきました。

この認定子ども園の制度は政府提案が出されたとき、保育の専門家から厳しい批判があった制度です。その要点は

- ◆保育に対する行政責任が後退する
- ◆安全面を含めた保育の質の低下が危惧される

ということです。関ヶ原町では認定子ども園移行後もすべて町で運営すると表明しています。

九月二日の子ども・子育て会議はごなたでも傍聴が出来ます。

しんぶん赤旗を お読みください

今週の赤旗日曜版
から
(8月7日号)

イラク戦争正しくなかった
イギリスの調査委員会が200ページの報告書
日本の外務省は4ページ
「イラク戦争正しくなかった」

しんぶん赤旗読者の皆さんのカンパで本紙を発行しています。

しんぶん赤旗にはほぼ毎週「明るい養老」の読者版を添付し、日々の行政情報をお知らせしています。(水谷)

日曜版
月823円
日刊紙
月3497円